スクランブル　令和6年3月　第166号　音声案内

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会、山中小学校PTA、大井第一小学校PTA、伊藤学園PTA、各学校OB&OG

編集・発行：大井第二地区スクランブル編集委員会

　　　品川区大井2-27-20　大井第二地域センター内

電話　03-3772-2000

FAX　03-3772-2076

表面

品川区初のプロスポーツチームしながわシティって知ってる？

品川区に初めてできたプロスポーツチーム『しながわシティ』。フットサルチーム・バスケットボールチーム等が各競技に参戦し活躍しています。それぞれのチームがどのような活動をしているのかご紹介します。また、球団社長である沢田和洋氏にインタビューさせて頂き、『しながわシティ』のそれぞれの競技の魅力や今後の構想についてお話を伺いました。

バスケットボールクラブ

2021年11月に発足しました。同年10月にB.LEAGUE Ｂ３リーグに参入し、現在もＢ３リーグにて試合をしています。 シーズンは10月から4月までで現在、シーズンの真っ最中です。チームの目標は、Ｂ３リーグでの優勝！そしてＢ２リーグへの昇格です。

普段は主に、区内の体育館で練習をしています。ホーム試合は都内の体育館で開催しており、 区内では戸越体育館で開催されます。

間近で見るバスケットボールの試合は、攻めと守りの切り替わりが激しく、ボールのスピードも速く、とても迫力があります。身長の高い外国籍選手のダンクシュートには会場が沸き、盛り上がります。ルールも分かりやすく、初めてバスケットボールを観戦する人も楽しめます。

今後のホーム戦予定

2024年3月9・10日　江戸川区立総合体育館VS立川ダイス

2024年3月24・25日　品川区立戸越体育館VS湘南ユナイテッド

（写真２枚）

区内の小学校でのバスケットボール授業の様子。間近で見る外国籍選手、思わず見上げちゃう！出張授業や教室を通してバスケットに興味を持ってくれて、より身近なものになってくれると嬉しいです。

フットサルクラブ

2020年8月に『しながわシティ フットサルクラブ』として発足しました。プロリーグはF1、F2リーグがあります。昨シーズンはF2リーグで18戦負けなし！の成績を残し、今シーズンは見事F1リーグに昇格しました。チームには日本代表選手も在籍しており、実力のある外国籍選手も活躍しています。今シーズンはF1リーグでの優勝を目指して頑張っています。

シーズンは6月から1月まで。シーズンオフの今の時期はチーム編成をしたり、選手たちは練習やチームの広報活動などをしながら、シーズンを迎える準備をしている最中です。

フットサルの魅力の一つは、得点の奪い合いが多く、プレイスピードが速いことです。距離感も近く迫力もあるので、一気にフットサルの世界に引き込まれます。6月から新シーズンが始まります。ぜひ、地元品川のプロフットサルを間近で観戦し、迫力を味わってみて下さい。

（写真２枚）

フットサルの試合の様子。選手が一丸となって戦う姿、鼓舞し合ったり、シュートが決まって喜ぶ姿、チームスポーツの素晴らしさがたくさん詰まっています。

【沢田和洋球団社長にお話を伺いました】

「品川区のシンボルってなんだろう」そこから始まり誕生したのが、総合型地域スポーツクラブ『しながわシティ』です。

一番のこだわりは「地域に根差したチーム作り」で日常にスポーツのある街づくりに挑んでいます。選手が学校を訪問し、スポーツの楽しさを伝えたり、区内のお祭りやイベントに参加し、実際にボールに触れる機会を設けたり、子どもや地域の方々との交流を深めています。スポーツを通じて、活気ある街づくりに携われたら嬉しいです。

多くの品川区民の方々に知ってもらい『しながわシティ』を通して、品川区民であることを誇りに思えるクラブづくりを目指します。

（写真１枚）

地域イベントに参加したバスケットボールチーム

取材を終えて…そういえば、イベントでバスケット体験を見たことがあります。学校からフットサルやバスケット教室のお知らせを持ち帰ることがあります。駅でチラシを配る選手を見かけたこともあります。既に生活の中でしながわシティに触れていたと改めて感じました。

取材班もバスケットボールを試合会場で観ましたが、目の前で見るプレイに感動し、すっかりしながわシティファンに。チームスポーツならではの励まし合う姿や諦めない気持ち、そんな姿を間近で観られて子供にとっても本当に良い機会になりました。

皆さんも現地まで応援に行き、しながわシティの活躍を後押しして、地元しながわを盛り上げましょう！

詳しくは、左のQRコードを読み取り【しながわシティＨＰ】をご覧下さい。

写真提供：しながわシティ

裏面

発見！まちのグルメ

焼きたてフォカッチャ　西大井のパン直売所「ジャムラボ」

西大井駅より徒歩6分、西大井二丁目にたたずむおしゃれなブルックリン風のお店「JAM LABO」。小麦粉の良い香りに誘われて訪問しました。

こちらは約８年前、系列のレストランで提供するプロ向けのパンやスイーツを焼くセントラルキッチンとしてオープンし2020年６月から直売を始めたそうです。

メインは自慢のフォカッチャを中心にパンやケーキを厳選展開。毎日12時に焼きたてが並ぶ看板商品のフォカッチャは、外はカリっと中はもっちり。オーブンやレンチンで食感をアレンジしたり、好みの具材やチーズを乗せて焼いたり、甘いジャム、バターをつけたりと食べ方が多彩なのも人気の理由です。卵不使用でアレルギーがある方にも喜ばれているとか。

取材後に各自で試食しましたが、「間違いなく私が人生で食べた中で1番おいしいフォカッチャ！」「もちもちふわふわでおいしい！と親子でペロリ」「オリーブオイルにつけたりポタージュにつけたりして大満足」と大興奮して報告し合ったほどの絶品です。

ランチタイムにはボリューミーなフォカッチャサンドも近隣で働く方々に人気。子どもにはチョコパンやぶどうパンが好まれているとのこと。スイーツ(冷凍)は４種類で季節ごとの商品もあり、カットケーキアソートは10個500円とお手頃で手土産にもピッタリです。

日によって並ぶ商品が異なりますが、LINEで週2回配信されるおすすめから選んで予約し、取り置きをお願いできるのが、近隣の保育園お迎え後の忙しい親にも好評だとか。

お歳暮などの依頼から、パーティーや催事で数百個、数十個単位オーダーも相談可能。パン以外にもチキンやスープ、惣菜など食卓に並ぶと嬉しいものが揃うケータリングサービスも開始予定で、楽しみです！

スタッフの方々は近隣中心に住む気さくで優しくてステキな方たちばかり。入り口のインターフォンを鳴らして是非お気軽に訪ねてみてくださいね。

住所：〒140-0015　品川区西大井2-12-10

営業時間：12:00～18:00（土　～17:00）

定休日：日祝日

支払い：各種カード、キャッシュレス決済対応

公式LINE ID：@jamlabo

イラストスクランブル

題名：「富士山」　ペンネーム：さほ

山中小学校　三年

月が出始める夕焼けの時間帯の富士山でしょうか？美しい風景を動物たちがながめている、素敵な光景ですね！空の色は、下の方からオレンジになっていくのを意識してみて。

また、富士山は日本一高い山。他の山より大きく描くと、より富士山の魅力が引き立ちますよ！

つぶやきスクランブル

あじわい

母：次の国語は「詩をあじわおう」だって。楽しみだね。

息子：え〜、やだよ〜。

母：なんで？

息子：だって味しないじゃん。

おなかふくれないし〜。

母：（食いしん坊か〜い）

心の中で盛大にズッコケつつ、ホッコリした、母でした。（うちの子楽しい）

わ！しなが輪　第29回　あめのもり　しげかずさん

今回お話を伺ったのは、大井一丁目鎧町会会長の雨ノ森茂一さんです。

生まれも育ちも大井一丁目の生粋の大井町っ子。令和四年五月から、町会役員の方々からの推薦で会長職に就かれたとのことです。

会長のお仕事は、主に地域の皆さんに伝えるべきことを町会掲示板や回覧板を通して伝えたり、町会の行事について役員の方々と話し合い決めているそうです。鎧町会の主な行事は、春のさくらまつり、夏のスイカ割、秋は鹿嶋神社のお祭りなどがあり、冬は防災施設の見学会を実施します。その他防災訓練を行ったり、意識の向上のため全町会員に防災グッズの配布を行いました。

「これからは親子参加型のイベントを増やしていきたいと考えています。地域の人々に町会は支えられているので、その分地域の人々に還元していきたいです。」と話す雨ノ森さんは、　ゴルフが趣味で月一～二回位コースに出ることも。これからも元気に町会を盛り上げてくれることでしょう。

次回は大井二丁目町会会長の樋口光さんです。

※今回鳥安商店の新井さんの予定でしたが、都合により変更になりました。

製品プラスチックモデル回収　知っておき隊！

　令和４年４月１日、環境省により「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチック製品全般の資源化が求められました。それにより、今まで「燃やすごみ」として出していた「製品プラスチック」が、プラマークのついた容器包装と一緒に、「資源回収」に出せることになります。

　品川区でも令和６年１月から、大井１丁目、２丁目、３丁目でモデル回収が始まりました。

　４月からは、品川区全地域にて「製品プラスチック回収」が行われますので、覚えておいてくださいね！

どんなものが製品プラスチックなの？

プラスチックで出来ている、汚れていないもので、30cm以内のものをいいます。

ペットボトルは今まで通りの回収方法です。

製品プラスチックはどうやって出すの？

製品プラスチックはプラスチック製容器包装と一緒にひとつの袋にまとめて決められた資源を回収する場所へお出しください。

製品プラについている金属部分は無理に取り外さなくてもいいそうです。

製品プラか判断がつかないものは、「燃やすごみ」に入れてください。

回収できないもの

軽くすすいでも汚れが落ちないもの→「燃やすごみ」へ

大部分がプラスチック以外でできているもの

→「燃やすごみ」または「陶器・ガラス・金属」へ

刃物などがついている、発火の危険があるもの

→中身が書いてある袋に「危険」と表示して、「陶器・ガラス・金属」へ

電池式(充電池・モバイルバッテリー付き等)のプラスチック製品

→小型家電回収ボックスへ、充電池類は販売店等の回収ボックスへ

30cmを超える大きさのあるもの→「粗大ごみ」へ

在宅医療などで使用した注射器やプラスチック製品

→注射針は病院や薬局へ、容器などは「燃やすごみ」へ

詳しい品目はこちらのQRコードからご覧ください。

品川区地域振興部地域活動課大井第二地域センター

電話　03-3772-2000

FAX　03-3772-2076